

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年補遺版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アーバンリビング相模原	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区田名4735番1	構造	RC造
用途地域	第2種中高層・準防火地域	平均居住人員	66 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2014年4月18日
敷地面積	1,686 m ²	作成者	建築環境計画
建築面積	777 m ²	確認日	2014年4月18日
延床面積	2,248 m ²	確認者	建築環境計画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 100%
 修繕・更新・解体: 83%
 運用: 83%
 オンサイト: 83%
 オフサイト: 83%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	建物周囲にたいしては、可能な限り緑化に努め、雨水を宅内処理とした。	その他 0
Q1 室内環境	ペアガラス及び断熱材による、高い断熱性の確保。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地等適度に確保した。
LR1 エネルギー	自然採光や通風に配慮し窓等の設置を計画した。また空調や照明は、各ゾーンにおいての制御が出来る様にした。	LR3 敷地外環境 地盤面に可能な限り緑化に努めた。
Q2 サービス性能	リフレッシュスペースとして食堂を外壁面に設置した。	
LR2 資源・マテリアル	内装材等についてはシックハウス法はもとより十分注意を払った。 上水の節水型機器の採用。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される